



3月 ちとせだより

2022. 3. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

今年度の最後の月を迎えました。コロナ禍にあって、当たり前の日常が当たり前でなく、本来あるべき行事も様々な形に変更しながら歩んできた毎日でした。しかし、子どもたちにとって1年という時は変わることはなく、それぞれがそれぞれの形で成長することができたことと思います。日々の中での成長は見えにくいものですが、1年という単位で見直してみると、幼児期の子どもにとっての成長はとても大きなものです。子どもたちの成長を最も近くで見てきた保護者の皆様にとってはこの1年間はどのようなものだったでしょうか。

子育ては毎日が戦争のように予想もできないことが、頻繁に起こります。まだまだ幼い子どもたちの意欲というものは、時に凄まじい形で表現されるものです。そのような場面に出くわした時に親はどうあるべきか、どう対応すべきか突きつけられます。親の思うような行動に導くために先回りして、あれやこれやと手を出しすぎることは、結果見た目としてはきれいに整ったものとなるかもしれませんが、しかし、子どもたちの成長にとって最も大事な意欲をそぎ落としていく結果にも繋がります。そうすると、「やってみたい!」「やってみよう!」という意欲はどんどんなくなり、何をするにも「どうしたらいい?」「何をしたらいい?」と人に聞かなければ判断ができず、自分の意見に自信が持てない人間になってしまう可能性もあります。子育てとは、子どもに失敗させない、悲しい思いをさせないように親が子どもの言動をコントロールするのではなく、子どもたち自身が自分で判断し、たとえ失敗したとしてもその経験を活かしながら、正しい判断を自らができるように成長していく過程を見守り支えていくことです。きっと遠回りで、時間もかかることも多いでしょう。イライラする場面もきっとたくさんあると思います。しかしそのような時間こそが子どもたちだけでなく、親自身も人間的に成長させられる機会となるのではないのでしょうか。

3月で卒園する年長児にとっては、YMCAちとせ幼稚園で過ごした毎日を通じて、これから始まる新しい生活、学習に対しても意欲的に楽しみと期待を膨らませて迎えることと信じています。目に見えない力を心の中にたくさん蓄えて、これから続くまだまだ長い人生を自分らしく、自信を持って歩いていって欲しいと願っています。

【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

3月主題 「なかまと **心はずませて**」

聖句 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

(マタイによる福音書28章20節)